

36 再生可能エネルギーの導入等の推進

【令和3年度予算概算決定額 1,922 (2,586) 百万円の内数】
 (令和2年度第3次補正予算額 986百万円)

<対策のポイント>

「グリーン社会」の実現に向けて、**営農型太陽光発電等の地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入**、家畜排せつ物等を活用した、災害に強く、**エネルギーの地産地消に資するバイオマス利活用施設の導入**等を支援します。

<事業目標>

再生可能エネルギーに係る経済規模を拡大 (600億円 [令和5年度まで])

<事業の内容>

1. 持続可能な循環資源活用の推進

- ① 持続可能な循環資源活用総合対策事業 28 (52) 百万円
 - ア 地域資源活用展開支援事業

地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入体制構築等の取組、バイオマス産業都市等の先進的な事例や知見をシェアリングする取組を支援します。
 - イ 営農型太陽光発電システムフル活用事業

営農型太陽光発電で発電した電力を自らの農業経営の高度化に利用し、営農型太陽光発電のメリットを最大限に発揮するためのモデル構築を支援します。
 - ウ 事業系食品廃棄物エネルギー利用対策調査事業

下水汚泥バイオガス施設で食品廃棄物を混合利用する取組を支援します。
- ② メタン発酵バイオ液肥等の利用促進 (食料産業・6次産業化交付金で措置)

1,894 (2,534) 百万円の内数

メタン発酵後の残渣をバイオ液肥等として地域で有効利用するための取組を支援します。

2. バイオマス利活用施設の導入等の推進

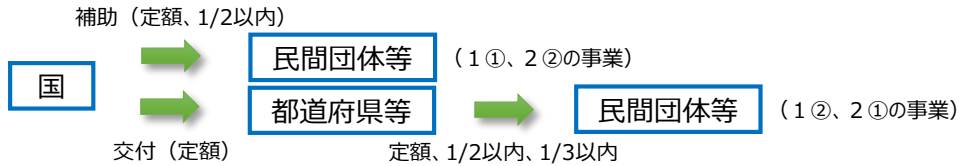
- ① バイオマス利活用高度化対策 (食料産業・6次産業化交付金で措置)

1,894 (2,534) 百万円の内数

バイオマス利活用の高度化に必要な、ア. 生産基盤強化モデル施設、イ. 地域一体モデル施設、ウ. スマート技術モデル施設の導入や、調査・設計等を支援します。
- ② 畜産バイオマス地産地消対策事業 【令和2年度第3次補正予算】986百万円

家畜排せつ物等を活用したバイオガスプラント等の施設・機械の導入を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

地域資源活用展開支援

地域が主体となった再生可能エネルギーの導入促進・地域内活用の体制構築

営農型太陽光発電

営農型太陽光発電のメリットを最大限に発揮するためのモデル構築

バイオマス利活用高度化対策

もみ殻 農作物残渣 等 → 電気 → 加工施設 → 農業ハウス

バイオマス利活用施設 → 熱 → 生産基盤強化モデル

エリアンサ → 亜臨界水処理装置 → 新たな原料・技術 → スマート技術モデル

畜産バイオマス地産地消対策

畜産農家 家畜排せつ物等 → (電気・熱・ガス) → バイオガスプラント (堆肥・液肥) → バイオ液肥散布車

搾乳ロボット

エネルギー地産地消・地域レジリエンス強化

災害時エネルギー地域利用

【お問い合わせ先】 食料産業局バイオマス循環資源課 (03-6738-6477)